

平成 18 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）



平成 17 年 7 月 28 日

上場会社名 井村屋製菓株式会社 (コード番号: 2 2 0 9 東証・名証第 2 部)
 (URL <http://www.imuraya.co.jp/>)

代 表 者 役職名 代表取締役社長 氏名 浅田 剛夫
 問合せ先責任者 役職名 執行役員財務部長 氏名 竹田 節郎 T E L : (059) 234 - 2147

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 引当金の計上基準等は一部簡便な方法を採用しております。
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 連結（新規）0 社（除外）1 社 持分法（新規）0 社（除外）0 社

2. 平成 18 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 3 月期第 1 四半期	6,566	4.1	371	-	338	-	303	-
17 年 3 月期第 1 四半期	6,306	3.2	521	-	502	-	545	-
(参考)17 年 3 月期	34,132	3.8	966	-	1,052	-	486	-

	1 株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
18 年 3 月期第 1 四半期	12.58	-
17 年 3 月期第 1 四半期	21.53	-
(参考)17 年 3 月期	18.66	-

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

第 1 四半期（平成 17 年 4 月 1 日から平成 17 年 6 月 30 日）における経済環境は、設備投資の増加や企業の景況感は全般的に改善傾向にあると言われておりますが、小売市場における消費環境は厳しい状況にあります。

このような状況にあって、当連結グループは新たに 7 つの課題を第二次業務構造改革のテーマとし「気概」を持って取り組むべく第 69 期をスタートいたしました。

当グループにおける第 1 四半期は、売上・利益ともに年間を通して最も低い期間であります。夏物商品の市場拡大や秋冬物商品の最終決定と商談の開始など最盛期に向っての重要な時期であり積極的な営業活動を展開いたしました。

組織面では、経営意識のさらなる向上を狙いとしてフードサービス事業部をフードサービスカンパニーに、調味料事業部をシーズニングカンパニーとし「社内カンパニー制」の導入を行いました。又、井村屋乳業㈱におきましては、豆腐・豆乳・デザート類へ特化した業態変革を行い、加えて 6 月 1 日にはチルドフーズカンパニーとして井村屋製菓㈱に合併いたしました。

売上面では、コンビニエンスストアや量販店で「カステラ」が引続き好調に推移し、アイスクリームも「あずきバー」や「輪切りパイ」など春夏物商品が好評を得、新規売場の拡大と相俟って 122.7%と大幅に伸長いたしました。肉まんあんまん類は売上高の少ない期間ではありますが前期比 150%を超える増となり着実に年間販売商材にシフトしております。チルドフーズカンパニーで取組んでおります「豆乳」は、カップタイプの「とうふ屋さんの豆乳」に続きペットボトルタイプ3種類を新発売し新しいカンパニーとしてスタートいたしました。又、社内コラボレーションとしてシーズニングカンパニーで「豆乳パウダー」の生産を行い、原料として幅広い活用が始まり今後に期待をしております。フードサービス事業は厳しい状況が続いておりますが、「新・原点回帰」の方針に基づいて改装を行ないました「高輪店」は売上高・客数・客単価ともに増加しており、今後はこのコンセプトを他の店舗にも水平展開するとともに「採算重視」の経営をさらに強化してまいります。

以上の結果、当期間の連結売上高は 65 億 66 百万円となり前期比 4.1%増となりました。

利益面におきましては、重油価格や鶏卵の高騰の影響はありましたが主要原料であります小豆価格の安定や、一方では業務構造改革の売り方の変革効果による販売での売上割引の減少、工場における LOSS 50 CUT や I E への取組み効果による生産の効率化もあり売上原価率は前期比 2.7%減少いたしました。

以上の結果、連結経常損失は 3 億 38 百万円（前期経常損失 5 億 2 百万）で前期から 1 億 64 百万円の改善となりました。

設備投資におきましては、選択と集中の考え方の中で前期決定いたしましたゴルフ練習場跡地への「低層賃貸住宅の建設」、「カステラ設備の増設」、「開発室の移設」、「まんとう設備の拡充」等今期の設備投資計画に基づいて進めております。

(2)財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	22,532	11,091	49.2	438.34
17年3月期第1四半期	21,792	10,763	49.4	425.14
(参考)17年3月期	22,292	11,778	52.8	466.14

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

第1四半期末における株主資本が期末と比べて減少するのは、前期利益処分に加え、第1四半期が年間を通じ売上が最も低調な時期であり、収益面でも赤字であることによるものと見られます。当グループは第1四半期の収益改善を経営課題と認識しており改革に向けて取り組んでおります。

3. 平成18年3月期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

当初予想（平成17年5月13日公表）と変更はありません。

業績予想につきましては、決算日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上

1.(要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前第1四半期末 (平成16.6.30)		当第1四半期末 (平成17.6.30)		増減 金額	(参考) 前連結会計年度末 (平成17.3.31)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
(資産の部)							
流動資産							
現金及び預金	892		829		63	1,506	
受取手形及び売掛金	5,044		5,159		115	5,080	
たな卸資産	2,465		2,845		380	2,259	
繰延税金資産	245		357		112	345	
その他の流動資産	163		224		61	200	
貸倒引当金	1		0		1	1	
流動資産合計	8,810	40.4	9,415	41.8	605	9,391	42.1
固定資産							
有形固定資産	9,685		10,527		842	9,924	
無形固定資産	29		25		4	25	
投資その他の資産	3,729		3,027		702	3,414	
貸倒引当金	462		463		1	463	
固定資産合計	12,982	59.6	13,117	58.2	135	12,900	57.9
資産合計	21,792	100.0	22,532	100.0	740	22,292	100.0
(負債の部)							
流動負債							
支払手形及び買掛金	3,485		3,638		153	3,576	
短期借入金	2,837		1,795		1,042	574	
賞与引当金	326		337		11	505	
未払金	1,301		1,761		460	2,062	
設備関係支払手形	-		504		504	500	
その他の流動負債	444		608		164	712	
流動負債合計	8,395	38.5	8,645	38.4	250	7,931	35.6
固定負債							
長期借入金	645		876		231	629	
退職給付引当金	709		758		49	756	
役員退職慰労引当金	196		172		24	168	
再評価に係る繰延税金負債	977		978		1	977	
その他の固定負債	1		10		9	10	
固定負債合計	2,530	11.6	2,795	12.4	265	2,542	11.4
負債合計	10,926	50.1	11,440	50.8	514	10,474	47.0
(少数株主持分)							
少数株主持分	102	0.5	-	0.0	102	38	0.2
(資本の部)							
資本金	2,253	10.3	2,253	10.0	-	2,253	10.1
資本剰余金	2,295	10.5	2,320	10.3	25	2,296	10.3
利益剰余金	4,598	21.1	5,028	22.3	430	5,614	25.2
土地再評価差額金	1,460	6.7	1,460	6.4	-	1,460	6.5
その他有価証券評価差額金	305	1.4	203	0.9	102	344	1.5
為替換算調整勘定	8	0.0	7	0.0	1	9	0.0
自己株式	140	0.6	167	0.7	27	181	0.8
資本合計	10,763	49.4	11,091	49.2	328	11,778	52.8
負債、少数株主持分及び資本合計	21,792	100.0	22,532	100.0	740	22,292	100.0

2 .(要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前第1四半期 〔自平成16.4.1 至平成16.6.30〕		当第1四半期 〔自平成17.4.1 至平成17.6.30〕		増減 金 額	(参考) 前連結会計年度 〔自平成16.4.1 至平成17.3.31〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比		金 額	百分比
売上高	6,306	100.0	6,566	100.0	260	34,132	100.0
売上原価	4,486	71.1	4,490	68.4	4	22,455	65.8
売上総利益	1,820	28.9	2,076	31.6	256	11,676	34.2
販売費及び一般管理費	2,342	37.1	2,447	37.2	105	10,710	31.4
営業利益又は営業損失()	521	8.2	371	5.6	150	966	2.8
営業外収益	45	0.7	53	0.8	8	183	0.5
受取利息	0		0		0	1	
受取配当金	11		12		1	18	
持分法による投資利益	-		3		3	12	
その他の収益	33		36		3	150	
営業外費用	26	0.4	21	0.3	5	97	0.2
支払利息	7		4		3	28	
持分法による投資損失	1		-		1	-	
その他の費用	16		16		0	68	
経常利益又は経常損失()	502	7.9	338	5.1	164	1,052	3.1
特別利益	-	0.0	269	4.1	269	115	0.3
投資有価証券売却益	-		192		192	47	
その他の利益	-		77		77	68	
特別損失	0	0.0	56	0.9	56	305	0.9
固定資産売却損除却損	0		56		56	137	
その他の損失	-		-		-	168	
税金等調整前四半期(当期) 純利益又は税金等調整前四 半期(当期)純損失()	502	7.9	126	1.9	376	861	2.5
税金費用	38	0.6	176	2.7	138	398	1.1
少数株主利益又は少数株 主損失()	4	0.1	-	-	4	23	0.0
四半期(当期)純利益又は 四半期(当期)純損失 ()	545	8.6	303	4.6	242	486	1.4